

## 令和5年度 ケアハウスふるさと 事業報告

### 【運営方針】

「少しでも 長く元気で 自分らしい生活を」

### 【基本方針】

介護の原点に戻り、ふるさとの理念に基づいたサービスの質の向上に取り組む  
安心して生活できる施設、安心して働ける職場を目標に、より良い人間関係の構築に努める

### 【年間目標】

- ① 稼働率の維持・向上（目標稼働率 97.5%）
- ② 重度化予防、フレイル予防の推進
- ③ 介護・医療・家族の連携
- ④ 事故発生の減少
- ⑤ より楽しい日常の提供

### 【実践報告】

- ① 稼働率の維持・向上（目標稼働率 97.5%）

・令和5年度の稼働率は95.7%であった。目標が達成されなかった主な原因として、入院者が多かったことがあげられる。また、待機者数の減少もあり、すぐに入居を希望される方も少なくなっている。

### 【令和5年度月別稼働状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
平均 利用 人数	38.1	37.9	38.7	39.0	39.1	38.0	39.0	39.4	38.6	37.7	37.3	36.4	38.3
平均 稼働 率	95.3	94.8	96.8	97.7	98.0	95.0	97.7	98.5	96.5	94.3	93.4	91.0	95.7
平均 要介 護度	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	1.9	1.8

- ② 重度化予防、フレイル予防の推進

・令和5年度の平均介護度は1.8となっており、令和4年度と変わりなし。  
・入院延べ日数は520日となっており、令和4年度に比べ255日増加となった。  
入院の原因としては転倒による骨折、肺炎、胆石、尿路感染など。  
・転倒事故が多いことを受け、訪問看護事業所に依頼し、居室環境の見直し、身体機

能の評価方法などを指導してもらった。指導してもらった内容を踏まえ、毎月転倒事故対策チームを立ち上げ、バランステストの実施、転倒事故内容の検証を行った。令和6年度は事故対策委員会に引き継ぐこととする。

### ③ 介護・医療・家族の連携

- ・コロナの対応が緩和され、ご家族の面会も再開となっており、ご家族と直接相談をする機会が増え、ご家族も実際にご本人の様子を見ることが出来ており、施設とご家族の連携が図れた。
- ・入院者が退院される前には退院前カンファレンスを開催することを病院と相談し、退院前に状態の把握をする機会を設けることが出来た。
- ・令和6年3月16日に運営懇談会を開催し、8名のご家族に参加していただいた。

### ④ 事故発生の減少

- ・令和5年度は神戸市へ報告が必要となった重大な事故が10件発生しており、その中でも骨折による入院加療が必要な事案が多く発生している。内出血の発見に関する事故も多く発生しており、同じご入居者の報告が続いていた。令和6年度は事故発生件数の減少、入院加療が必要な重大な事故の件数を減少できるよう事故対策委員会で具体的な防止策を講じていきたい。

### ⑤ より楽しい日常の提供

- ・令和5年5月より、コロナの対応を緩和し、外出行事などを再開した。年間の実施した行事は下記の通り。

(令和5年度実施外出行事・施設内行事)

4月	お花見(妙法寺川公園) ドライブ
5月	外出(須磨寺) 買い物ツアー 母の日
6月	外出(しあわせの村) 買い物ツアー 茶話会
7月	外出(健康公園) 買い物ツアー 茶話会(七夕)
8月	ケアハウス夏祭り 20周年アニバーサリー
9月	ビアガーデン 敬老祝賀会
10月	外出(健康公園) ハロウィンパーティー
11月	紅葉ドライブ(須磨浦公園) お楽しみ会
12月	コロナ感染流行のため行事は中止
1月	初詣ドライブ(網敷天満宮) お茶会(リース作り)
2月	梅見(網敷天満宮) お楽しみ会 節分
3月	ひなまつり 『喫茶ふるさと』茶話会

※上記以外に音楽療法(月2回) 生け花(月1回) 習字(月1回) 実施。

### 【神戸市への虐待の通報】

令和6年1月9日14:00、ケアハウスに神戸市介護保険課監査指導部の訪問があり下記の内容の通報が神戸市に入ったとの報告を受ける。入居者、家族、職員のどこからの通報かは不明

神戸市への通報内容

- ・職員の入居者に対する言葉遣いがキツイ  
動いたらあかん！ここから出ないで！触らないで！などの発言がある
- ・入居者に無理やり食事介助をする職員がいる
- ・入居者に怒鳴る職員がいる
- ・トイレの希望があっても対応をしない
- ・12月30日入居者1名の受傷事故があったが改善策を講じていない

上記通報内容に対する施設の対応

- ・会議を開催し通報を受けたことの職員全員への報告説明。
- ・事故内容の再検証を実施。
- ・職員アンケートを実施し、アンケートの内容を踏まえた改善策を検討。
- ・施設長による職員への面談。

※令和6年4月17日時点では、神戸市へ来庁し、虐待不認定と報告受領済。

### 【神戸市への報告を必要とした事故】

報告件数：10

事故内容別件数

転倒による骨折	転倒以外の理由による骨折	受傷
7件	2件	1件

転倒による骨折事故場所別件数

居室内	食堂	その他
5件	2件	3件

今後の対策

- ・転倒による骨折事故が7件と多く発生しており、令和5年5月より転倒事故対策チームを立ち上げ、転倒事故の検証、ご入居者のバランステストの実施、訪問看護ステーションによる勉強会を行った。令和6年度も継続していく予定。
- ・介助中に発生したと思われる骨折事故が発生しており、ケアハウス会議の中で基本的な介助方法の勉強会を行っている。令和6年度も継続する予定。

### 【苦情件数】

苦情件数：1件

苦情内容

- ・令和5年4月11日、ご入居者家族より、下記の苦情を受ける。  
面会に来たら次の状況であり改善をして欲しい。

- ・時計の電池が交換されておらず、止まったまま。
- ・居室にかけて欲しいと依頼をしたカレンダーがそのまま置かれていた。
- ・空気清浄機の水が入っておらず、空のままである。
- ・テーブルの上が埃まみれである。
- ・ズボンが前後逆に履いている。

#### 対応内容

- ・職員全員にご家族からの申し出内容を説明する
  - ・毎日全居室が環境整備されているか管理職、ケアマネが確認する
  - ・担当職員は、出勤日に担当入居者の居室を整理することを徹底する
- 上記対応内容を書面でご家族様へ渡し、謝罪説明しご了承いただく